

北陽技建株式会社

■事業

3次元データを活用できる技術体制を確立し、
i-Constructionへの対応でリードする

■対象類型

革新的サービス

■導入機械装置

ドローン用レーザシステム

社員の半数以上が技術職
i-Constructionに対応

【経営理念】

切磋琢磨し技術の向上を図り、地域社会に貢献する。

設立当初から土木設計業務を中心に、付随する測量、地質調査、補償業務を受注し、土木技術会社として実績を重ねてきた。一級建築士、一級土木施工管理技士、一級建築施工管理技士など技術職が社員の半数以上を占める。一級さく井技能士を9人抱え、一部専門土木工事も手掛けている。1986年に本社を現在地に移転。1994年に浜田支店（現在は営業所）を開設したのを皮切りに、雲南、大田、益田、江津に順次営業拠点を開設し、出雲部から石見部まで守備範囲を広げてきた。「技術を磨き地域社会に貢献する」という一貫した姿勢が、揺るがぬ信頼の源だ。国土交通省が推進するi-Construction（アイ・コンストラクション）に対応した新技術の導入で、一層の飛躍を目指している。

*i-Constructionとは ICT（情報通信技術）を活用し、建設現場の生産性向上と魅力アップを図る取り組み。国土交通省が2016年から導入を推進している。

レーザ測量テスト実施
人材育成し技術体制整う

土木建設業界のi-Construction導入は、下流工程の施工分野で盛んに進められているが、北陽技建株式会社は、得意分野の上流工程の測量・設計業務でも避けて通れないと判断。他社にない革新的な技術の確立を目指し、今回のドローンとレーザスキャナの導入を決めた。島根県から受注した出雲市佐田町の林道建設現場でテスト飛行とレーザ測量テストを繰り返し実施し、収集した三次元点群データの処理を行った。レーザ測量の結果を裏付けるため、樹木を伐採し、従来方式の測量も平行して実施した。その結果、三次元点群データと平面、横断図面を従来の4分の1の労力で作成できた。ドローン操縦やデータ処理の人材育成も進め、技術体制が整った。



代表取締役 高橋 敏夫

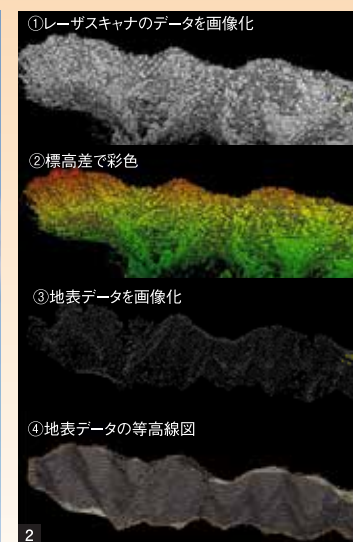


1

1 レーザスキャナを搭載し飛行するドローン

2 画像化したレーザスキャナのデータ

3 ドローンを使用して測量に取り組む北陽技建の技術者



2



3

高精度、短期間で測量
強みを活かし顧客開拓

島根県は、総面積の80%弱を森林地帯が占めている。従来の写真測量に比べ、レーザ測量は、樹木の茂った山間部でも地表面を明確にできるのが強みだ。広範囲を高精度、短期間で測量を実施できる。機器を持ち込むことが難しい地形や土砂崩れなど危険を伴う災害現場でも素早く安全な測量が可能だ。地域の中堅ゼネコンの起工測量ニーズに応え、実績を積んだ段階で、ホームページやパンフレットでアピール。西日本全域で新規顧客開拓を進める考えだ。i-Constructionの先駆者として官公庁営業を強化、国、県、市町村の公共事業の受注を目指す。

■Company Data

北陽技建株式会社



北陽技建本社

代表者名：高橋 敏夫
設立年月日：昭和57年3月17日
資本金：70,000千円
従業員数：40名
主たる業種：技術サービス業
売上：420百万円
本社：〒693-0013
島根県出雲市荻野町53-2
電話：0853-22-0223
FAX：0853-21-5023
URL：www.hokuyo-giken.co.jp/

土木技術分野で実績
新たな技術を導入し一層の飛躍を目指す